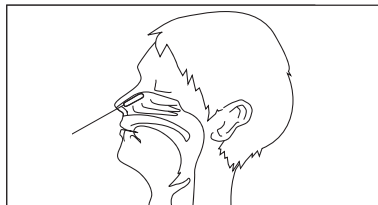


鼻腔ぬぐい液を検体とした場合の イムノース[®] SARS-CoV-2 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489

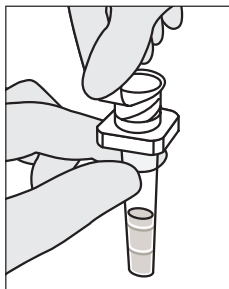
■ 検体採取

鼻腔ぬぐい液

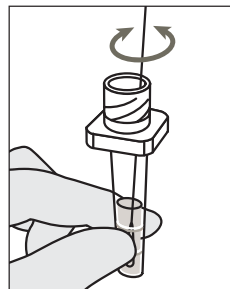


キット付属の綿棒を鼻孔から2cm程度挿入し、挿入後、綿棒を5回程度回転させながら擦るようにして粘膜表皮を採取し、5秒間静置します。

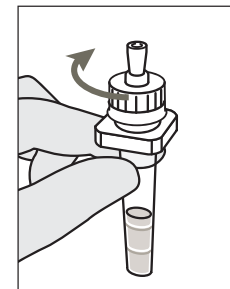
■ 試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

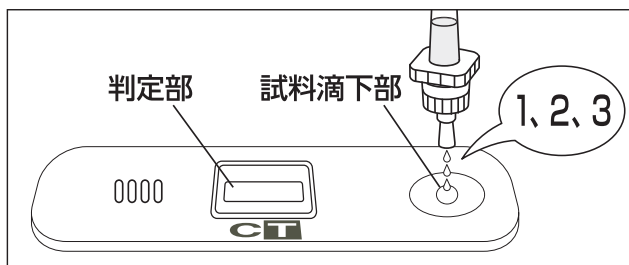


検体採取後の綿棒を検体抽出液に浸し、容器の外側から綿棒の頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。抽出後、容器の外側から綿棒の頭部をつまみ、試料を絞り出すように綿棒を引き抜き、試料とします。



検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。

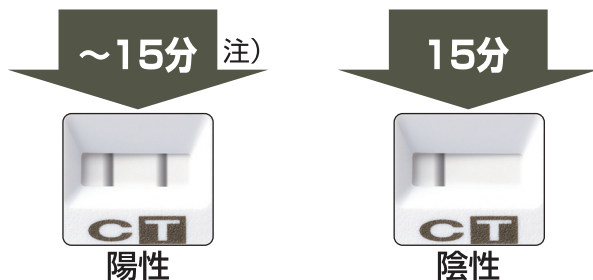
■ 試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴を滴下します。

⚠ 注意
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

■ 判定



注) 15分より前でも判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合には陽性と判定してください。

注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡にかかわらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ 抗原量が非常に多い場合には、判定部 [T] に非常に濃いラインが認められ、判定部 [C] にラインが認められないことがあります。この場合は、速やかに医療機関を受診するようにしてください。
- ⑤ 試料の滴下量が多すぎた場合には、判定時間内に判定ラインが認められない、または判定ラインが薄くなることもあるため、3滴の試料滴下を守ってください。



陽 性

判定部[T]および[C]の両方にラインが認められた場合（2本のライン）を陽性と判定します。

判定部[T]にわずかでも黒色のラインが認められたら陽性と判定します。



陰 性

判定部[T]に黒色のラインが認められず、判定部[C]にのみ黒色のラインが認められた場合（1本のライン）を陰性と判定します。

判定部[C]の黒色のラインは、薄くても目視で確認できれば正常に検査が行われていることを示しています。



判定が困難な
場合

判定部[C]に黒色のラインが認められない場合や、キット上に表示される結果が明瞭でなく、判定が困難な場合には、速やかに医療機関を受診するようにしてください。